

ホウレンソウ

栽培のポイント

① 種まき前に石灰を

畑の酸度(pH)が酸性に傾いていると生育が悪くなるので、種まきの2週間ほど前に石灰をまき、中和させておきましょう。また、畑の周囲には排水溝を設けるようにしましょう。

② まき溝は平坦に

種をまく時、まき溝の底面に凹凸があったり覆土の厚さにムラがあったりすると、発芽や生育が不ぞろいになります。底面はできるだけ平らにしておきましょう。そして発芽するまでは、表面が乾いてきたら水をやるなど適切な湿度状態を保ちましょう。

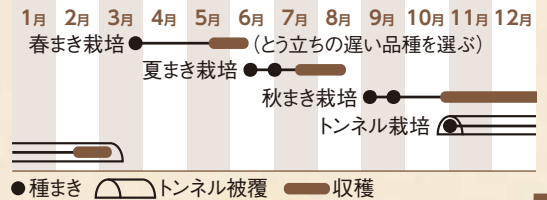
③ 間引きで品質の良いものを

生育の遅いものや葉形の悪いものを間引き、葉と葉が重なり合わない程度にします。株が張った良品を育てるには、広めの株間がおすすめです。



品種
・強カオーライ
・ソロモン

栽培カレンダー



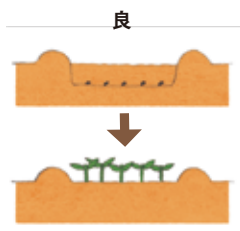
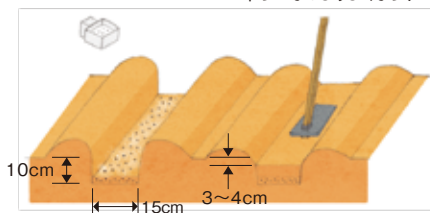
1 畑の準備

畑全面に完熟堆肥と石灰をまいて深く耕す。排水不良のところは立ち枯れが出やすい。秋まきは台風シーズンなので、ところどころに溝をつくり、畑全体の排水対策をしておく

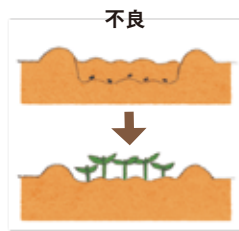
2 元肥入れ

肥料の上に土をかけ、鍬で底面が平らになるようくならす

〈畝の長さ1m当たり〉
化成肥料: 大さじ5杯



まき溝の底面が平らで覆土の厚さが均一なら、発芽や生育がよくそろう

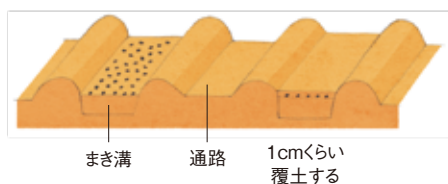


まき溝の底面にでこぼこがあったり、覆土の厚さにむらがあると発芽や生育が不ぞろいとなる

3 種まき

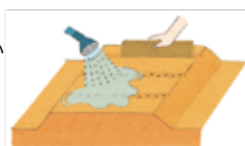
種をまく前に溝全体にたっぷり水をまいておく

溝まきの場合
2cm四方くらいに1粒
ずつばらまきする



ベッドまきの場合

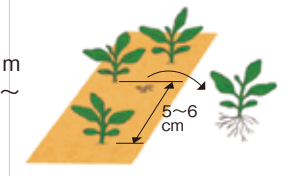
板切れで15cm間隔に、幅2cm、深さ1cmくらいのみき溝をつけ、1.5~2cm間隔で条まきする。1cmくらい覆土した後、たっぷり水をまく



4 間引き

● 第1回
本葉1枚のころ
3~4cm間隔に

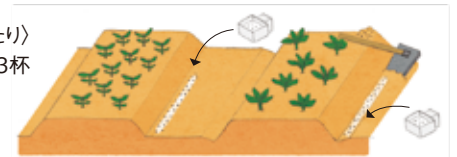
● 第2回
草丈が7~8cm
に伸びたとき、5~
6cm間隔に



5 追肥

第1回、第2回間引きの後、畝間に化成肥料を施し、軽く耕し込む

〈畝の長さ1m当たり〉
化成肥料: 大さじ3杯



6 病害虫防除



ヨトウムシ
周辺に雑草が多いと被害が大きい。べた掛け資材を被覆するか殺虫剤を散布する

べト病
密植で発生しやすい。早めに殺菌剤を散布する

7 収穫

草丈が25cm程度になったら収穫する。通常流通しているものより大きく、30cmくらいになっても味が楽しめる

東洋種

雑種

